

にいがた
勤務医ニュース

発行所
新潟県医師会
新潟市中央区医学町通 2-13
TEL 025 (223) 6381

医師会への積極的 参加を期待する

新潟県医師会 副会長 小池 哲雄



皆さん、卒業おめでとう。そうなりますと現在のよ
業おめでとう。うな受けの医療体制ではなく、必
ごさいます。然的に住まい・医療・介護・生活支
大多数の方々援・介護予防を、あなた方医師に
は研修医とし中心とした多職種連携で一体的に
て各地の病院提供（所謂、地域包括ケアシステ
△）しなければならぬとあります。

のの実地医療を開始されることと思ひます。新
たな研修制度が始まって、はや
十三年になりました。皆さんの今
後の方向を決める上で、この二年
間の研修が実り多いものとなるこ
とを祈っています。

卒業おめでとう



長岡赤十字病院 院長 川嶋 禎之

五常について

とろで我が国の二〇一四年の
六十五歳以上の高齢化率は二六・
〇％という超高齢化社会となりま
した。さらに、二〇二五年には三
〇・三％、二〇二五年にはなんと
三八・八％になると予測され、勤
労者人口は急激に減少する一方、
独居老人世帯や老々
夫妻世帯が急速に増
加していきます。そ
のような時代を皆さ
の医療・介護の根幹となる「地域
包括ケアシステム」構築のために
つて行く事になるわ

卒業おめでとう。ざ
ざいます。このから社会に
出る皆さんへの餞
を書くよう編集部よ
りご指名受けました
が、まず、自分の立

場について説明いたします。私、
昨年七月より長岡赤十字病院の
院長を勤める、皆さんの親御さん
と同じか、やや上の世代の平凡な
整形外科の勤務医です。直近の新
任院長が三月の原稿を執筆する慣
習とのことで、僭越にも人生訓め
いたことを書く役回りになりまし
た。化けの皮がはがれない程度に
引用を交えて餞の言葉を書かせ
ていただきます。

皆さんはこれまでの学生生活
を始める皆さん。皆さんは医師と
して責任ある立場で、実社会、し

必要欠くべからざる活動を、医師
会が頑張っていることを知ってい
ただきたいと考えます。

学術団体である医師会には日
本医師会、四十七の道府県医師
会、更には約九二〇の郡市区医師
会と大学医師会等があります。こ
れらはいずれも独立した社団法人
です。医道の高揚、医学教育の向
上、医学と関連科学との総合進歩、
医師の生涯教育などを目的として
夫々の地域医療の主な担い手とな
っています。具体的には国・都道
府県・都市などの行政機関と多岐
にわたる分野で、様々な審議会や
委員会に参加して市民の健康福祉
について協議し、レセプト請求審
査、学校医、母体保護法の指定医
等の母子保健、予防注射、職場医
の産業医等の産業保健活動、救急
医療等に参加、従事しています。
また地域保健等の医師会病院、看
護師養成学校、検査センター、訪
問看護ステーションなどの医療・
福祉・教育施設を適宜用いて、
活発に様々な事業を展開していま
す。まさに医師会が中心となり関
連多職種と連携して、住まい・医
療・介護・生活支援・介護予防を行
っていると考えています。

以上のように医師会には多方面よ
り国民の健康福祉のために活動し
ています。しかし、平成二十六年
の日本医師会の加入状況は医師総
数三〇万三千人の内の一六万六千
人（約五五％）で八万四千人の診
療所従事者（開業医）は一〇〇％
近いのに、病院従事者（勤務医）
は二二万一千人の内の八万二千
人で三八・六％に過ぎません。その

一方、医師会内の勤務医の構成比
は約五〇％です。未加入の勤務医
にその理由を聞くと①入会しても
メリットがない、②関心がない、
③会費の問題（高い）、④勤務
医の構成比が五〇％に聞わらず
開業医が中心の運営が不満、等
です。④については医師会全体で
真剣な取り組みが必要であろうと
思います。①、②については青臭
いと笑われるかもしれないが、
ヒョクテスの誓いから綿々と受
け継がれてきている医師の社会的
責務だとしか言えないように思
います。会費については何もある益
を見いだせないとの発言から
すれば、只ほど安いものはないの
ですから、いくらにしても高いと
言われそうです。現在、新潟市の
勤務医の場合、医師会費は総額約
六万一千円／年です。（因みに強
制加入の弁護士会費は新潟市の登
録五年目の弁護士で六十八万円強
／年）

昨年より、研修医をD会員と
し初期研修の期間中、医師会費を
無料とすることになりました。そ
れでも現在新潟県での対象となる
研修医は一六七人ですが、入会者
は中越地区を中心に五〇人（三〇
％）のみです。是非、皆さんには
入会していただき、研修中に医師
会がいかなる活動をしているかを
じっくり検討し、納得頂いた上で、
今後の医師会活動へ積極的に参加
していただくことを切に願ってい
ます。

学部体育学科で基礎体
力、社会生活を送る上で
必要なコミュニケーション
ン能力を培われてきたこ
とを思います。そして、
本紙の発行予定日、三月
十八日に晴れて医師国家
試験の合格発表を迎え、四月から
は初期研修医というもうひとつの
モラトリアム期間が始まること
でしょう。ただし、モラトリアムと
言ってもこれからは学生時代とは
異なり、医師法上は研修期間中
あつても「医師」として扱われる
責任ある立場になりますし、責任
と同時に経済的自立、自由も与え
られる全く新しいステージの始
りとなります。

さて、数週後に医師として仕事
を始める皆さん。皆さんは医師と
して責任ある立場で、実社会、し

「身体的にトラブルを抱えた
生身の人間をその環境も含めて診
る」という医療の現場に飛び込む
心の準備は出来ていますか？ 臨
床という不確実性を包含した医科
学の実践の場で判断に迷うときの
心の羅針盤をお持ちですか？
人の命を預かることになる医師
には昔から職業倫理規範がついて
回ります。みなさんご存知の通り、
古くは「ヒポクラテスの誓詞」、
最近では「世界医師会のマドリッ
ド宣言」が有名です。ただし、医
師の職業倫理規範といっても、所
詮日本人の一般的な行動規範である
儒教の徳目、五常（仁、義、礼、
智、信）に包含される類のもの
私に理解していただきます。マドリッ
ド宣言を一読しておくことをお勧め
しますが、科学的な判断の一部
も含め倫理的な判断で迷ったとき
に、自分の行動は仁義礼智信にか
うか自問し、独善的にならぬよ
う衡量する習慣が良医につながる

「初期研修の期間中、医師会費を
無料とすることになりました。そ
れでも現在新潟県での対象となる
研修医は一六七人ですが、入会者
は中越地区を中心に五〇人（三〇
％）のみです。是非、皆さんには
入会していただき、研修中に医師
会がいかなる活動をしているかを
じっくり検討し、納得頂いた上で、
今後の医師会活動へ積極的に参加
していただくことを切に願ってい
ます。」

「医師会には多方面よ
り国民の健康福祉のために活動し
ています。しかし、平成二十六年
の日本医師会の加入状況は医師総
数三〇万三千人の内の一六万六千
人（約五五％）で八万四千人の診
療所従事者（開業医）は一〇〇％
近いのに、病院従事者（勤務医）
は二二万一千人の内の八万二千
人で三八・六％に過ぎません。その



新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 教授 寺井 崇二

医師として新たな道の 开拓者たれ！

卒業おめでとう。病死をみて学んでいくことにな
ると思ひます。また選ぶ診療科に
よって、過ごす時間が違うと思
います。患者さんにとって、医師と
の出会いが一期一会です。ぜひ、
このことを頭に置いて、日々の業
務として医療を行うのではなく、
目の前の患者さん一人一人に対し
新鮮な気持ちで病を診ていってほ
しいと思ひます。目の前の患者、
次にくる患者にとつて、「いい医
生とは何であるか」、を常に考え
続けていってほしいと思ひます。

私が日々実感している「医学の
常識や概念は一時的なもので、新
しい研究により変化・修正するも
のである」という言葉があります。
例えば、私の卒業は一九九〇年、
前年はC型肝炎ウイルスが発見さ
れた年でした。当時の消化器内
科領域の医師は、それまで非A非
B型肝炎とされてきた病態が、新
たに慢性C型肝炎と診断され、当
時の最先端治療としてインターフ
エロンの治療を懸命に行ってい
ました。一方で、今、話題になっ
ている脂肪肝は「ウイルス性ではな
く、進行しないので安心していい」
というのが、その時期の常識で、
脂肪肝の中に一〇％は存在する進
行性の非アルコール性脂肪肝は
ない病気」に対して、逃げずに、
是非、挑戦するという気持ちをも
って難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験か
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の「基礎的な診断治
療能力」、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
「Clinician-Scientist」の基本を身
につけてほしいと思ひます。

「仁」とは、他人に
対する思いやりや優しさであり、
「義」とは利欲を捨て正しい行い
を守ることを、悪を差する心であ
り、「礼」とは人間関係を円滑に
すすめるための秩序を維持するた
めのものであり、「智」とは物
の道理を知り、正しい判断を下す
能力、「信」とは欺かない事、偽
らない事、誠実な心と私は解釈
しています。もちろん、儒学は大
昔の為政者の統治のための御用学
問ですので、「革新・情熱・好奇心」
といった観念は重視していません
し、慣行としての礼、古典のみの
に贈ります。

「いい医師になるには、臨床現
場で、様々な疾患、患者を診る
こと、経験すること、多くの
勉強をすることも必要です。簡
単な病気だけでなく、今の技術
で「診断のつかない病気」、治せ
ない病気」に対して、逃げずに、
是非、挑戦するという気持ちをも
って難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験か
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の「基礎的な診断治
療能力」、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
「Clinician-Scientist」の基本を身
につけてほしいと思ひます。

「いい医師になるには、臨床現
場で、様々な疾患、患者を診る
こと、経験すること、多くの
勉強をすることも必要です。簡
単な病気だけでなく、今の技術
で「診断のつかない病気」、治せ
ない病気」に対して、逃げずに、
是非、挑戦するという気持ちをも
って難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験か
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の「基礎的な診断治
療能力」、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
「Clinician-Scientist」の基本を身
につけてほしいと思ひます。

「いい医師になるには、臨床現
場で、様々な疾患、患者を診る
こと、経験すること、多くの
勉強をすることも必要です。簡
単な病気だけでなく、今の技術
で「診断のつかない病気」、治せ
ない病気」に対して、逃げずに、
是非、挑戦するという気持ちをも
って難しい問題に取り組んでほ
しいと思ひます。その経験か
ら、解決する新しい知恵、着想が
きつと見つかると思ひます。専門
医、学位の取得には卒業後十年は
かかると思ひます。その十年で、
専攻する領域の「基礎的な診断治
療能力」、そして患者さんと一緒
に新たな、医学、医療を開発する
「Clinician-Scientist」の基本を身
につけてほしいと思ひます。

卒業おめでとうございます

新潟市民病院 清野 あずさ (平成二十四年卒)

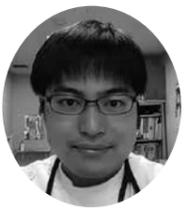


卒業生のみなさん、この度はご卒業おめでとうございます。私が、初期研修に励んでいく中で、国家試験大変お疲れ様でした。三月に入り、最後の学生生活を満喫し思い出作りに勤しんで、四月からの研修医生活に、期待と不安に胸を膨らませていらっしやるのではないのでしょうか。

四月から初期研修を開始される方が多いかと思ひます。自分自身を振り返ると、初期研修はあつと期間に過ぎていってしまった二

新卒研修医の先生方へ

厚生連柏崎総合医療センター 須藤 真則 (平成二十五年卒)



新卒の先生方、皆様のサポートを行う体制ができています。ぜひそのような場所を積極的にデイスカッションを行い、学生時代に学んだ知識を実際の症例と照らし合わせ、臨床判断の考え方を学びながら実践の場で経験を積んでください。おそらく、先生方がこれからは、患者さんで教科書通りに

卒業おめでとうございます 今後はロールモデル・メンターとなれるように

厚生連上越総合病院 水澤 桂 (平成二十五年卒)



上越総合病院、院・総合診療科で後期研修をしています。研修の初期の「優れた指導者・助言者・恩師」の役割を担うようです。何でもグリーシャ神話で、オデュッセウスがトロイア戦争に出陣するとき、自分の子供テレマコスに託した

後悔のない二年間を

厚生連長岡中央総合病院 横川 かおり (平成二十五年卒)



皆さん、ご卒業おめでとうございます。専門の先生に手取り足取り教えていただくことも守ってもらったこともありません。そう考えると、研修医という期間は機会と時間に恵まれ、かつ失敗してもフォローしてもら

四月からの生活に不安と希望を抱きつつ、寸暇を惜しんで卒業旅行に勤しんでいる最中でしょうか。大いに羽を伸ばして、来る新生活のために英気を養ってくださ

ご卒業おめでとうございます

済生会新潟第二病院 牧野 麻美 (平成二十六年卒)



皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業試験、国家試験を無事に乗り越え、安堵さ

立場ではありませんが、少しでも皆さんの参考になればと思います。私の二年間の研修生活で感じたことを、自分への反省の意味もこめてお伝えしたいと思います。

経験

県立新発田病院 村山 雄大 (平成二十七年卒)



こんには、新発田病院研修医の村山雄大です。研修医になつて一年が経とうとしていま

研修医に就いて絶対的に足りないものが経験です。それはもう、見ることが聞かぬこと知らないことだらけです。それが研修医生活が楽しい理由であり、また辛い理由だとも思ひます。

編集後記

高橋 (高橋)

卒業をもって学校の全課程を修了したと認められ、医師として社会人としての長いキャリアがスタートします。本号では先輩から皆さんに、多くのことはなむけのことばをいただきました。一鉄は熱いうちに打て、とは、柔軟性のある若いうちに鍛えることが大事だという教訓で、物事は時期を逃さないうちに実行しないと成功し難いという教訓でもあります。